

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 サブゼロ・フォージ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	△RG 0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：サブゼロ・フォージ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ニュークリアー・フォージ

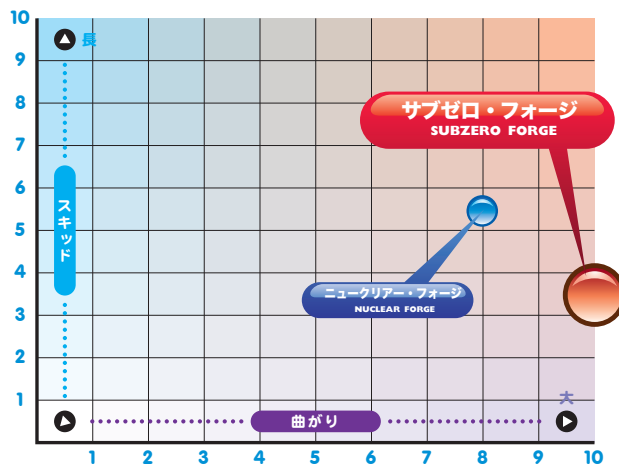
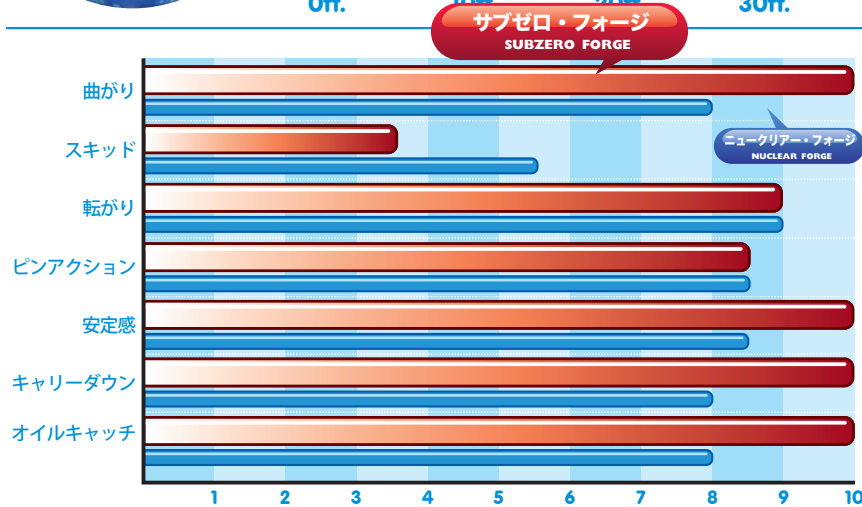
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社の中でミディアムヘビー領域を担うFORGEシリーズですが、前回発売したNUCLEAR FORGEはPearl素材でやや光沢がある表面仕上げながらオイルが多いコンディションでも十分にトラクションが得られ、そのキャッチ力とバックエンドの反応性があるリアクションは、MOTIV社が目指しているカバーストックの強化が目に見えてあらわれていました。MOTIV専属契約プロであるEJタケットの驚異的な活躍は、実力もさることながらMOTIV社の素材の進化の裏付けとも言っても過言ではありません。今回発売するSUBZERO FORGEは、カバーストックの強化のあらわれとも言えるキャッチ系の性能で、Leverage MXC SolidカバーストックとDetonatorコアを組み合わせで完成されています。Leverage MXC SolidカバーストックはEVOKEと同じカバーストックで、Duramax 添加剤で強化されています。Duramax 添加剤の大きな特徴は表面仕上げの状態を長く保てることであり、特にサンディングされたボールは定期的に表面の再加工が必要になりますが、Duramax 添加剤で仕上げられたカバーストックはその頻度を少なくすることができ、その結果長く同じパフォーマンスを保てる効果があります。SUBZERO FORGEの最大の特徴はFORGEシリーズ最大のキャッチ力と曲がり幅であり、以前までFORGEシリーズ最大の強さをみせたFORGE FLAREよりもスキッドが長いものの、曲がり幅は上回る数値に仕上がっています。キャッチを強めながらバックエンドの動きを大きくすることは、キャッチする能力とパワーの保持双方をバランスよく仕上げないと叶えられないリアクションであり、今までのMOTIV社の曲がり系のボールの中でもレベルの高い仕上がりと言えるでしょう。

特記事項

オイルが多いコンディション、ないしはキャリーダウンしたコンディションで圧倒的な強さを感じます。オイリー系で先の動きを求めるボウラーにも納得のいく性能です。